平成 23 年度 事 業 報 告 書 平成 23 年 10 月 1 日から 平成 24 年 9 月 30 日まで

特定非営利活動法人 HERO

1 事業の成果

前事業年度に行った成果として以下の3点を挙げる事ができます。

- (1) カンボジアに小学校の寄贈 1 校
- (2) 学校建設について日本の学生 81 名がボランティアで参加
- (3) 既存の建設後の学校 2 校で運動会・歯磨き教室等のイベント実施

(1) カンボジアに小学校の寄贈について

シソポン近郊のローク村の小学校が老朽化で授業に支障をきたしている状態であったため、その当該敷地内に小学校の建替え建設を行いました。バンテアイ・ミアンチェン州の教育局と調整をし、建設後の学校運営については公立の学校として運営を行っております。

(2) 日本の学生のボランティア参加について

上記の学校建設に際し日本国内で大学生を中心にボランティア希望者を募集しスタディーツアーを実施しました。7回の実施で総勢81名の日本の学生が参加し、学校建設及び農村部でのホームステイなどを体験。社会貢献に対する意識も深くなり、帰国後も引き続きカンボジアへの支援活動を独自に行う学生も出てきております。

(3) 既存の建設後の学校2校で運動会・歯磨き教室等のイベント実施

建設した学校において、学年を超えた子どもたちの交流と学校を楽しいものにするためにルサイ村と新スレイクワウ村の学校にて運動会を実施しました。運動会の実施に当たっては日本の大学生にも関わってもっております。

また、近年のカンボジアの経済成長に伴い、農村部にもお菓子などの甘味料が流通し、虫歯になる子どもたちが出てきております。歯磨きの習慣がないことと、歯医者不足、貧困などが原因で虫歯になってしまっても治療することができません。校長先生からの依頼もあり、日本で歯ブラシの寄付を募り、運動会と同様に日本の大学生の協力を得て、新スレイクワウ村の学校にて歯磨き教室を実施しております。

2 前年度からの実施事業の中止について

学校に通えない最貧困家庭向け教育訓練支援策として、貧困家庭で天然石けんを製造し販売できるよう、石けんの製造方法と道具の提供を行ってきましたが、事業の収益性と継続性が確保できないと判断したため事業の中止を決定いたしました。

今後は代替策として、同様の目的において小規模の養豚事業の準備を進めております。2013年より事業開始を予定しております。

3 運営学校の生徒数報告(調査月:2012年9月)

	1校目:ルサイ村	2校目:新スレイクワウ村	3校目:ローク村
学年	人数	人数	人数
1	45名	40名	40名
2	47名	45名	50名
3	46名	40名	54名
4	40名	0	58名
5	_	40名	64名
6	_	_	51名
合計	178名	165名	317名

4 事業の実施に関する事項

		1				
事業名	事業内容	実施	実施	従事者	受益対象者の範囲及	支出額
事 未有	争未约谷	日時	場所	の人数	び人数	(千円)
教育施設の未整備な地					カンボジアの小学生	
域における学校建設事	² 校建設事		シソポン	_	約 300 名(初年度)	0.050
業	小学校の建設	3 月	近郊のローク村	1	村の大工・資材屋・通訳	2,359
					など 10 名	
援助を必要とする人達へ	生ゴーンの		ことはマッラットが		t , t , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
の教育支援と援助物資	歯ブラシの	9月	シェムリアップ近郊	1	カンホジアの小学生	0
の提供事業	提供		の新スレイクワウ村		約 150 名	
職業訓練を目的とした専	最貧困家庭向け					
門学校の建設及び運営	天然石けん作り	10 月	シェムリアップ [°]	4	世帯月収 20ドル以下の	8
事業	指導	~1 月	近郊のルサイ村	1	家庭3世帯	
	(年度内中止)					
雇用機会の拡充を目的と						
した雇用主への経営研修	未実施	_	-	-	-	_
事業						
社会貢献教育を実践する		2月~	シェムリアッフ゜			
ためのボランティアの養	大学生向け小学 校建設スタディ	3 月	近郊のスレイクワウ村	3	日本の大学生 81 名	1,131
成と派遣事業		8月~	及びルサイ村、シソホ゜	3		
	ーツアー	9月	ン近郊のローク村			
上記(1)から(5)の活動に						
対する普及啓発活動事	未実施	_	_	_	-	_
業						
その他目的を達成するた	+ + +	_				
めに必要な事業	未実施		_			

以上

活動計算書

2011年 10月 1日 ~ 2012年 9月 30日まで

(単位:円)

科目		金額	(平位:口)
I 経常収益			
1. 受取会費		0	
2. 受取寄付金		2,954,401	
3. 自主事業収益(スタディーツアー)		2,964,300	
4 受取利息		135	
経常収益計			5,918,836
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1)学校建設経費			
学校建設費用	1,665,549		
臨時雇賃金(カンボジア)	693,486		
人件費計	2,359,035		
(2)その他経費			
旅費交通費(スタディーツアー)	676,487		
スタディーツアー経費	455,177		
その他経費計	1,131,664		
事業費計		3,490,699	
2. 管理費			
(1)人件費			
人件費計	690,000		
(2)その他経費			
旅費交通費	852,727		
支払手数料	11,655		
会議費	20,800		
消耗品費	82,777		
広告宣伝費	1,000		
通信運搬費	4,359		
前受金返済	67,937		
維費	3,171		
その他経費計	1,044,426	1 504 400	
管理費計 22 世界 田 司		1,734,426	E 00E 10E
経常費用計			5,225,125
当期正味財産増減額			693,711
前期繰越正味財産額			871,785
次期繰越正味財産額			1,565,496

貸借対照表

2012 年 9月 30 日現在

(単位:円)

	A -		A 4	(十年:13)
	科目		金額	
I	資産の部			
	1. 流動資産			
	現金預金	1,593,427		
	流動資産合計		1,593,427	
	2. 固定資産		, ,	
	固定資産合計		0	
	資産合計		-	1,593,427
Ιп	負債の部			
-	1. 流動負債			
	流動負債合計		27,931	
	2. 固定負債		21,501	
	固定負債合計		0	
	負債合計		U	27,931
				21,931
ΙШ	正味財産の部			
	前期繰越正味財産		871,785	
	当期正味財産増減額		693,711	
	正味財産合計			1,565,496
	負債及び正味財産合計			1,593,427

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法 人会計基準協議会)によっています。

財産目録

2012 年 9月 30 日現在

(単位:円)

	科目		金額	
Ι	資産の部			
	1. 流動資産			
	現金預金			
	手許現金	0		
	みずほ銀行	1,063,477		
	みずほ銀行	529,950		
	流動資産合計		1,593,427	
	2. 固定資産			
	固定資産合計		0	
	資産合計			1,593,427
П	負債の部			
	1. 流動負債			
	流動負債合計		27,931	
	2. 固定負債			
	固定負債合計		0	
	負債合計			27,931
	正味財産			1,565,496